

## 研究に関するお知らせ

2021年 8月 23日

横浜医療センター看護部では、下記の研究を行います。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

### ■研究の名称

術後せん妄を発症した慢性硬膜下血腫の患者に身体拘束を実施した期間と在院日数の分析について

### ■研究の対象となる方

2020年4月1日から2021年3月31日までの間に慢性硬膜下血腫で入院し、手術を施行された患者さんを対象とします。

### ■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報には厳重に保護した状態で行います。

### ■研究の概要

#### 研究の目的及び意義

当院の慢性硬膜下血腫の治療では手術後1日目はドレーンが留置され、そのことを理解できない患者さんが多く、身体拘束に頼らざるを得ない現状があります。脳血流の変動や脳実質の損傷を受けることによるせん妄発症の危険性の他に、身体拘束もせん妄を助長させる因子となると考え、慢性硬膜下血腫における術後せん妄患者さんを対象に身体拘束を実施した期間と在院日数の関係について分析し、より良い看護の提供へ繋げることを本研究の目的としています。

#### 研究の期間

2021年 倫理審査委員会承認日 ～ 2022年3月31日

## 研究の方法

診療情報より、以下の項目に関して調査・分析を行います。

### <データ内容>

医師記録、看護記録、抑制カンファレンス、身体拘束の種類、身体拘束の使用期間と解除した時間、既往歴、認知機能、麻痺、日常生活動作（入院前、手術後）、せん妄状況、意識レベル、運動機能、不穩の有無、夜間の入眠状況、日中の覚醒状況、眠剤の種類、夜間の眠剤の使用の有無。

### <分析方法>

看護記録、医師記録を参照して身体拘束を実施した期間と在院日数、意識レベルやせん妄の状態を情報収集します。

## 個人情報等の取り扱い

この研究は対象者の個人情報を守った上で行われます。提供された情報は研究用の番号をつけて管理し、研究対象者のプライバシーは堅守致します。また、研究データおよび結果は研究の目的以外に用いることはなく、研究結果は研究責任者が研究終了後 5 年間または結果発表日から 3 年間まで、全て匿名化した上で紙ベースにし、病棟の鍵のかかる棚に保管します。

## 利益相反に関する状況

開示すべき利益相反は特にありません。

## 研究に関する情報公開の方法

医学看護に関する学会等にて発表します。その際、データは個人が特定されない方法・内容に限るものとします。

### ■研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

本研究は既存の診療録情報を利用した後方視的疫学研究であり、対象者への文書や口頭によるインフォームドコンセント取得は困難であるため、相談に対しては個別に対応します。お問い合わせ先までご連絡ください。

### ■お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 東 6 病棟 脳神経外科  
看護師 山田 杏夏（研究代表者）  
〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2  
TEL045(851)2621（代表） fax045(851)3902（平日 9 時～17 時）